

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科におけるロボット支援手術実施までのプロセス

耳鼻咽喉科・頭頸部外科におけるロボット支援手術の実施に際しては、以下のプロセスで準備を進めていく

1. 指針の確認
2. トレーニング受講
3. 症例準備（実施施設認定）
4. 症例実施

### 1. 指針の確認

「耳鼻咽喉科・頭頸部外科におけるロボット支援手術に関わる施設基準並びに医師の資格基準」をよく読み、下記の各基準を満たしていることを確認すること。

#### 施設基準

1. 頭頸部がん専門医制度（日本頭頸部外科学会）における指定研修施設あるいは準認定施設であること
2. 常勤の耳鼻咽喉科専門医が3名以上在籍すること
3. コンソール術者となる予定の医師が常勤医として在籍すること
4. 常勤麻酔医が1名以上在籍すること
5. 常勤放射線治療科医または常勤放射線科医が1名以上在籍すること
6. 常勤臨床工学技士が1名以上在籍すること
7. 緊急手術の実施体制を有すること
8. 24時間の院内検査実施体制を有すること
9. 医療機器の保守管理体制を有すること
10. 手術支援ロボット等の機器トラブルへの対処に関し、院内での体制を整え、本手術に用いる機器について、適切に保守管理がなされていること
11. 医療安全管理委員会を有すること

#### コンソール術者に関する基準

1. 耳鼻咽喉科専門医であること
2. 頭頸部がん専門医（または頭頸部がん暫定指導医）であること
3. 術者あるいは指導的助手として、咽喉頭癌に対する経口的鏡視下手術（注）を20例以上経験し、咽喉頭の内腔からの解剖に十分な知識を有すること。もしくは、アシスタント術者として、ロボット支援手術を10例以上経験し、経口手術のみならず、ロボット支援手術に十分な知識を有すること。

注)「経口的鏡視下手術」とは、硬性内視鏡あるいは軟性内視鏡、あるいは顕微鏡によって視野を確保し、経口的に挿入した鉗子によって操作を行う手術のことを指す。例えば、内視鏡下咽喉頭手術（endoscopic laryngo-pharyngeal surgery: ELPS）、経口的咽喉頭部分切除術（transoral videolaryngoscopic surgery: TOVS）、transoral laser microsurgery: TLMが該当する。部位は、中咽頭、下咽頭、声門上とする。

## 2. トレーニング受講

耳鼻咽喉科・頭頸部外科におけるロボット支援手術教育プログラムは以下の通りである。

### A. 機器の操作方法に関するトレーニング

- ① オンライントレーニング
  - 機械の各部位の名称、操作に関する基礎的トレーニング
- ② オンサイトトレーニング
  - 機器管理、操作などに関する基礎的トレーニング
- ③ ベーシックコース
  - 実機の操作練習
  - ブタを用いた操作練習

### B. 外科手術に関するトレーニング

- ① 症例見学（1例）
- ② 献体を用いたアドバンスコース
- ③（初期症例：プロクター招聘）

トレーニング受講に際しては、トレーニング受講条件チェックリストに必要事項をもれなく記入し、下記提出書類を学会まで送付すること。承認され次第、メーカー担当者より申請者に連絡があり、トレーニング、症例見学等の日程が調整される。

## 提出書類

1. トレーニング受講条件チェックリスト
2. 常勤の耳鼻咽喉科専門医 3 名以上の認定証のコピー
3. 頭頸部がん専門医（または頭頸部がん暫定指導医）1 名以上の認定証のコピー
4. 経口的鏡視下手術を 20 例以上、またはロボット支援手術をアシスタント術者として 10 例以上経験していることを示す[症例リスト](#)

## 3. 症例準備（実施施設認定）

症例の実施に先立ち、実施施設認定申請書に必要事項をもれなく記入し、提出書類を送付すること。承認され次第、実施施設認定証を発行する。

## 提出書類

1. 実施施設認定申請書
2. 認定術者全員分のベーシックコース修了証のコピー
3. 認定術者全員分の症例見学修了証のコピー
4. 認定術者全員分のアドバンスコース修了証のコピー

## 4. 症例実施

- ▶ 手術の開始にあたっては、「耳鼻咽喉科頭頸部外科におけるロボット支援手術機器の適正使用指針」に従うこと
- ▶ 手術を開始するにあたり、多職種を含めた手術チームで、手術シミュレーションを行うこと
- ▶ 本手術の施設での初回例には「プロクターに関する基準」を満たした医師を指導的助手として招聘すること。プロクターによって必要と判断されれば、2 例目以降もプロクターを招聘すること。ただし、本手術の経験を 2 例以上有するコンソール術者が常勤医として在籍する場合を除く。
- ▶ 手術実施日までに各施設の「高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門」による承認を得て、承認証を学会事務局に送付すること

認定プロクター <2019年1月15日現在>

清水 颯 (東京医科大学)

楯谷一郎 (京都大学)

藤原和典 (鳥取大学)

申請書類送付先

日本頭頸部外科学会事務局

頭頸部ロボット支援手術委員会

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11

一ツ橋印刷 (株) 学会事務センター

TEL: 03-5620-1953、FAX: 03-5620-1960

E-mail: [hns-service@onebridge.co.jp](mailto:hns-service@onebridge.co.jp)